

今後の中ロ関係と 日本の北東アジア政策

ユーラシアの新たな国際関係を展望する

中国とロシアの通商外交関係が、今春以降、深化の兆しを見せつつあります。EU27カ国の経済規模に匹敵する、この2つの超大国の関係深化は、今後も進んでゆくのか、またそれは日本を含む北東アジアや中央アジアに何をもたらすのか、世界の有識者にご講演いただきます。

プログラム

- ◇「趣旨説明」 永野 護
- ◇「2022年共産党大会後の中国経済と外交：米中・中ロ・日中関係の展望」
張 勇祥氏講演
- ◇「ロシアのウクライナ侵攻：歴史的経緯・展望、対日・対中政策への影響」
アレクサンダー・ブフ氏講演
- ◇「中央アジア諸国の対中・ロ関係の現状と課題」
ティムール・ダダバエフ氏講演
- ◇パネルディスカッション
- ◇「総括と展望」 永野 護

言語：すべて日本語で講演いたします。

報告者

張 勇祥 (日本経済新聞社 金融・市場ユニット次長、前上海支局長)

1997年日本経済新聞社入社。金融・マーケット関連の取材を長く務める。2006～08年、2016～21年上海駐在。

報告者

アレクサンダー・ブフ (ビクトリア大学ウェリントン校准教授)

モスクワ生まれ。幼少期からの大半をイスラエル他、日本、タイ、韓国等のアジアで過ごす。ロンドン大学にて博士号を取得後、2012年より現職。専門はロシア・韓国・日本を中心とする北東アジアの国際関係。

報告者

ティムール・ダダバエフ (筑波大学人文社会系教授)

ウズベキスタン出身。国費留学により1995年より日本留学。立命館大学博士(国際関係学)、ケンブリッジ大学客員研究員等を経て現職。

モデレータ

永野 護 (成蹊大学経済学部教授)

東京都出身。大阪大学博士(国際公共政策)。三菱総合研究所、アジア開発銀行、名古屋市立大学教授を経て2012年より現職。専門は金融データサイエンスおよび国際経済学。

【オンデマンド配信期間】 2022年12月1日～2023年2月28日



視聴無料・要申込・先着500名

下記のCAPSの公式ウェブサイトURL
またはQRコードにアクセスして、お申込みください。



CAPS公式ウェブサイト